

くりっぴ

学校・家庭・地域

学校を変える。教育が変わる。 **CLIP Vol.24**

平成16(2004)年 3月31日発行 広島県教育委員会

CONTENTS

- 平成16年度「教育改革」施策特集
みんなで伸ばそう! 子どもの力
大切なのは基礎基本の徹底です。
- こころの風景 その6
- 広島県高等学校等奨学金
- 平成16年度 広島県教育モニター募集
- おでかけガイド

「夢」を育てる環境づくり



大切なのは**基礎基本の徹底**です。

学校では…

- 知** ●基礎学力定着のための授業実施
●豊かなことばの力の育成
- 徳** ●道徳教育における実践研究の成果の普及
- 体** ●小学校段階での運動習慣の定着

学校経営改革

- 新たな校長任用制度の導入
- 市町村教育委員会への指導主事等派遣
- 教育モニター制度の導入
- 学校管理職、中堅教員への研修の充実

家庭や地域では…

～家庭は教育の原点です～
子どもたちの基本的な生活習慣を身につけましょう。



11月1日は **ひろしま教育の日**

地域や学校で多彩なイベントを行います。

平成16年度「教育改革」施策特集

広島県では、県民総参加の教育改革を進めます。

みんなのチカラ

カ

進む!
新たな「教育県ひろしま」の創造に向けて
教育改革

盲・ろう・養護学校では

障害のある幼児児童生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすため、**障害の状態等に応じた指導計画を作成し**、様々な工夫と配慮のもとにきめ細かな教育を行います。

● 専門性に基づいたきめ細かな教育を行います

- 教員が手作りの教材・教具を開発するなど、障害の状態等に応じたきめ細かな教育を行います。
- 専門性に基づいた指導内容や方法を研究し、公開研究会等で発表します。

● 社会参加や職業的自立を支援します 一部新

- 子どもたちの希望や障害の状態等に応じた個別の支援計画に基づき、就業体験を行います。
- 就業体験の受け入れ先を新規に開拓します。
- 企業情報、進路情報に関するデータベースを構築します。



幼稚園・保育所では

小学校へスムーズに就学できるよう、各市町村の実情に即した取組みを支援し、**基本的な生活習慣や人と関わる力を育成**します。

(平成15年度の幼児教育調査から
見えてきた課題)



● 幼稚園・保育所の教育・保育内容を充実します

- 情報公開を進め、家庭・地域との連携強化を進めます。
- 小学校以降を見通した、幼児期にふさわしい教育・保育を進めます。

● 市町村の幼児教育の取組みを支援します 一部新

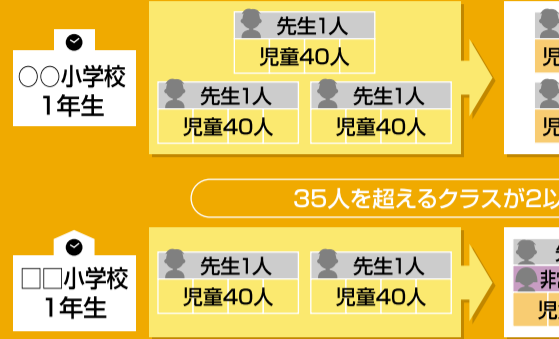
- 県内6か所で幼児教育振興セミナーを開催し、幼児期の教育・保育の課題や取組みの共有を図ります。
- 市町村の実情に即した幼児教育振興計画の策定を促進します。

小学校では

● 小学校1・2年生の少人数授業を充実させます

生活習慣や学習習慣を身に付けるため、小学校1・2年生を**教員による**、きめ細かな指導を行います。

例えば



● 「基礎・基本」の定着状況を調査します

児童の基礎学力の確実な定着を目的として、市町村や各での学力向上に関する取組みを評価し、それぞれの状況に**た授業改善**を行うため、この調査を実施します。

〈平成16年度の「基礎・基本」定着状況調査について〉

- ▶ 調査時期 平成16年6月15日(火)
- ▶ 調査対象 県内全公立小学校5年生
- ▶ 教科 国語、算数
- ▶ アンケート 生活や学習の習慣、指導内容や指導方法など

● 小学校での生徒指導を充実します 新

小学校6年生から中学校1年生にかけて急増する不登校や遅刻に対応するため、対人関係能力の育成や学力の定着を図る取組を進めます。

- 不登校対策実践指定校を20校指定(常勤教諭を配置)し、
- 小学校6年生での少人数指導を行うため、非常勤講師



教育改革のさらなる推進に向けて

食べる!遊ぶ!読む! キャンペーン

Q なぜこのキャンペーンをはじめたの?

- A 広島県教育委員会が平成15年度に行った
- 子どもたちの基礎学力や体力・運動能力
 - 幼児の育ちの状況
- についての調査結果から基礎学力や体力などと「基本的な生活習慣」との間に強い相関関係があることが分かりました。

これは

広島県の教育施策の柱である「知・徳・体」の基礎基本の徹底を進める上で、**基本的な生活習慣を培う家庭での教育が極めて重要であることを示しています。**

そこで

家庭での教育のチカラが本県の教育改革に不可欠であることから、**「食べる!遊ぶ!読む!」キャンペーン**に取り組むこととしました。

Q なにをすればいいの?

- A 「毎日朝食を摂る」「外で元気よく遊ぶ」「本をたくさん読む」ことで子どもたちの「心」と「体」の元気を育てることが大切です。
まずは、きちんとしっかり「食べる!」ことから始めましょう

「知」「徳」「体」の基礎・基本の徹底

知

「ことばの力」を育てます

Q どうして「ことばの力」が必要な?

- A 「ことばの力」は、**学習や生活の基盤となる重要なもの**で、社会人になっても必要とされるものです。
ところが、幼児教育調査(平成15年度)では**日常の「コミュニケーション」能力**に、「基礎・基本」定着状況調査(平成15年度)でも**長文の内容を理解する力**などに課題があることが分かりました。



Q 広島県では、どんなことをしているの?

- A <聞く><読む><話す><書く>など「ことばの力」を育てる教育を展開し、子どもたちの「物事を深く考える力」や「豊かな人間性」を育てています。また、学校での「朝の読書」活動を推進する他、「ことばの輝き優秀作品表彰」等を開催しています。

「ことばについて考える100人委員会」 学校や地域を訪問し、ことばの教育に関するアドバイスを行ったり、講演会や関連イベントを行います。

徳

「心の元気」

Q どのような取組みを?

- A 子どもたちの基本的なモラルを育てるため、学校における**道徳教育を一貫して推進**し、**連携した取組**を進めています。

■ 道徳教育を充実します

新年度も昨年と同様に、道徳教育や地域と連携する体制をつくり、実践事例の一層の蓄積に努めます。また、この2年間の取組み成果を、各校の道徳担当者等1000人を対象に**フォーラム**を開催します。

■ 青少年の立ち直りを支援します

地域ボランティア団体や青少年団体のクラブ等と連携し、社会奉仕活動やスポーツ活動、文化活動などに絡む「居場所づくり」を行い、非行を犯した青少年の立ち直りを支援します。

実施します

対象に、**少人数授業**や**複数**

上ある場合

先生1人 児童30人	先生1人 児童30人
先生1人 児童30人	先生1人 児童30人

下の場合

先生1人 非常勤講師1人 児童40人	先生1人 非常勤講師1人 児童40人
--------------------------	--------------------------

ます

学校
応じ

や低年齢化する少年非行に
取り組みを行います。

小中学校の連携を強化します。
を配置します(140校程度)。

中学校では

習熟度別少人数授業を実施します **拡充**

国語・数学・英語における基礎学力の定着を目的として、習熟度別等の**少人数授業**で一人一人に応じたきめ細かな指導を行います。

■中学校2・3年生での習熟度別指導の実施校を増やします。

例えば

1クラスの生徒が30人を超える場合

先生1人 生徒40人	先生1人 生徒40人
---------------	---------------

基礎じっくり コース 先生1人 生徒25人	基礎じっくり コース 先生1人 生徒25人	応用発展 コース 非常勤講師1人 生徒30人
--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

「基礎・基本」の定着状況を調査します

生徒の基礎学力の確実な定着を目的として、市町村や各学校での学力向上に関する取組みを評価し、それぞれの状況に応じた授業改善を行うため、この調査を実施します。

〈平成16年度の「基礎・基本」定着状況調査について〉

- ▶ 調査時期 平成16年6月15日(火)
- ▶ 調査対象 県内全公立中学校2年生
- ▶ 教科 国語、数学、英語
- ▶ アンケート 生活や学習の習慣、指導内容や指導方法など

高等学校では

幅広い進学希望に応える指導体制を構築します

15年度に引き続き「**進学指導拠点校(5校)**」「**進学指導重点校(15校)**」を指定し、生徒の将来の夢や高い目標を実現するための取組を進めます。

- 拠点校………県外先進校への教員派遣、難関大学対応の校内模試等の実施
- 拠点校・重点校…学習合宿や大学教授等による模擬授業の実施、進路指導研修会の開催

共通学力テストを**全ての公立高等学校**で実施します

学習指導要領における教科・科目の目標や内容の達成状況を把握し、今後の各学校における指導内容・指導方法の工夫・改善に役立てるため、このテストを実施します。

▶ 実施時期 平成16年11月(予定)	▶ 教科 国語、数学、外国語
▶ 調査対象 全公立高等学校1年生及び2年生	▶ アンケート 生活や学習に対する意識・実態、学校の指導方法等

望ましい職業観・勤労観を育成し、**就業能力**を向上します **一部新**

厳しい就職環境に対応して、生徒が望む就職が実現できるよう、企業の求める能力の育成に努めるとともに、就職相談体制の充実や採用企業の開拓を進めます。

- 企業ニーズの高い資格取得のための指導を強化します。
- 就職指導推進重点校(3校)を指定し、体系的・実践的な就職指導モデルを開発します。
- 就職指導が必要な学校に専任のジョブ・サポート・ティーチャーを6名程度配置します。
- 関係部局と連携し、就職支援セミナーを開催します。

特色ある学校づくりを進めます **新**

- 今後成長が期待できる産業分野に対応した学科を設置し、学科間の科目の履修が柔軟に行えるなどの特徴を持つ、平成17年4月開校予定の「**広島県立総合技術高等学校(仮称)**」の整備を進めます。
- 専門教育の拠点校(6校)について、産業の高度化に対応した実習設備等の整備を平成16年度から計画的に進めます。

平成16年度の施策特集 広島県の教育改革

徹底で子どもたちの成長を支えます

体「健やかな身体」をつくります



信頼される学校づくりに向けて
様々な施策を展開しています

「心の元気!」を育てます

しているの?

しや思いやりの心を形成するため、層進めるとともに、**家庭や地域と**ます。

実践研究校を30校指定し、家庭ながら「**道徳の時間**」の充実と実を普及させるため、全公立小中学校対象に、「**心の元気!**」1000人

援します

団体、スポーツかや体験活動、継続的に参加で行などの問題を扱います。

「健やかな身体」をつくります

Q 子どもたちの体力の現状は?

A 広島県の子どもの**体力・運動能力は、多くの種目で全国平均を下回っています**。本年度も引き続き小中高全学年の男女1,500人を抽出(小学校5年生は全員)し、体力・運動能力調査を実施。その結果をこれからの取組みへ反映させます。

Q 体力つくりのために行っていることは?

A 学校教育全体を通じて体力・運動能力の向上に取り組めるよう、小学校において、「**体力づくり推進リーダー**」を育成します。体育授業での指導方法を工夫するほか、発達段階に応じた指導ができるよう研修会を開催します。

健康3原則

--	--	--

大切なのは「よく食べ」「よく動き」「よく眠る」ことです。

NEW 学校経営体制を充実します

教育改革を進めていくためには、学校の機能を高め、教育の場として本来有する力を十分に発揮することが必要です。そこで、**校長公募制の実施や「主幹」の導入、教科指導に優れたエキスパート教員の認証**などを進めます。

NEW 教育モニター制度を導入します

新年度から、**一般県民やPTAから教育モニター**を募り、教育ニーズなどを把握するとともに、今後の施策展開の参考とします。

NEW 教職員の指導力を向上します

教職員個々の能力等に応じた研修を実施し、**指導力の確実な向上**を図ります。



教師から
この風景 6

10年経験者研修を終えて

比和町立比和中学校
住岡田 幸乃

“Nothing great was ever achieved without enthusiasm.” これは、私が学生時代に耳にした言葉です。「情熱がなかったら何事も習得できない。」というような意味だと思います。教師になって10年が過ぎ、1年間にわたる10年経験者研修を終えて、改めてこの言葉の重み、大切さがわかったような気がします。

私は、1年8か月の産休、育休を終えて、昨年春、職場に復帰しました。4月当初は、長いブランクと子育てなどへの不安に加え、10年経験者研修は本年度から新たに導入された研修であり、不安な気持ちでいました。しかしながら、明るく、素直な生徒たちに助けられ、周囲の方々に支えられて、日々の授業研究を進めることができました。何とかこの1年を終えることができ、感謝の

気持ちで一杯です。

10年経験者研修での10回にわたる学習指導案の作成や授業公開を通して、生徒たちにどんな力をつけなければならないのかをより深く考えることができ、初心に戻るきっかけにもなったように思います。その上、他校の先生の授業参観や夏休みの模擬授業では、互いの授業を評価し合うこともできました。授業をしていく上での悩みを打ち明け合い、互いのアイデアを出し合い励まし合うこともでき、元気をもらいました。

また、普段交流することが少ない小学校や高等学校の先生方との意見交換では、互いにさらに連携していくことの大切さを確認することもできました。そのほか、総合的な学習の時間や進路指導などの実践発表も大変参考になりました。

10年経験者研修を教職生活の新たなステップと捉え、初心を忘れず、指導力の向上をめざすとともに、今後も教育に情熱を持ち続ける教師でありたいと思います。

おでかけガイド

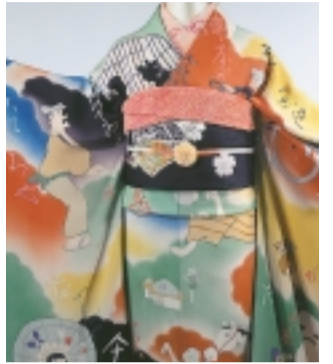
日 日時 内 内容 対 参加対象者 T 電話 料 料金
※詳細については、各施設にご確認ください。

広島県立美術館 T 082 (221) 6246 広島市中区上幟町2-22

特別展 「日本のおしゃれ展」

日 4月20日(火)～5月23日(日)

内 西洋文化の大きな影響を受けた華やかなデザイン。繊細な刺繍や染め。染織工芸のきわめて高度な技術に支えられ着物文化が最も光輝いた明治・大正・昭和初期のきもの約90点を展示。帯、半襟、帯留めなどとコーディネートし、研ぎ澄まされた現代のドレスアップ・スタイルとしてよみがえります。



広島県立歴史民俗資料館 T 0824 (66) 2881 三次市小田幸町122

「ふしぎ発見!大昔の技と知恵—古墳時代の謎を解く—」

日 4月20日(火)～5月23日(日)

内 「古墳時代のさまざまな道具」や「須恵器」「鉄の道具や鉄づくり」「横穴式石室」など、その技術や造形のふしぎについて展示や体験を通して考えます。

◀ 銅形はそう(三次市 野瀬南第9号古墳出土)

広島県立歴史博物館 T 084 (931) 2513 福山市西町2-4-1

「阿部正弘と日米和親条約」

日 4月23日(金)～5月23日(日)

内 日米和親条約締結150周年にあたって、幕府老中首座であった福山藩主・阿部正弘が、条約締結・開国を決定した過程と、当時の国内外の情勢を明らかにします。

「ペリー来航図」(部分) 吉備津神社蔵 ▶



企画展開催記念講演会「阿部正弘とペリー来航予告情報」

日 4月24日(土) 14時～15時30分

内 講師/岩下哲典(明海大学助教授)

博物館講座「アメリカ海軍から見た日米和親条約」

日 5月8日(土) 14時～15時30分

内 講師/歴史博物館職員

子ども博物館教室「ペットボトルで黒船を作ろう」

日 5月2日(日)・5月5日(水) 10時～12時

内 指導/歴史博物館職員

展示解説会

日 4月25日(日)・5月9日(日)・5月23日(日)
①10時30分～11時30分 ②13時30分～14時30分

縮景園 T 082 (221) 3620 広島市中区上幟町2-11

茶摘茶会

日 5月9日(日) 10時～15時

内 上田宗箇流和風会/古くから八十八夜に行われていた茶摘の行事に併せて、新茶と抹茶の接待による茶会を開催します。

しょうぶ茶会

日 6月6日(日)

内 南宗茶華道桃溪会/しょうぶの季節に際して開催する茶会です。

田植まつり

日 6月13日(日)

内 上田宗箇流和風会/五穀豊穡を祈願して、古くから行われている田植行事に併せて、茶会を開催します。

福山少年自然の家 T 084 (935) 7166 福山市金江町葉江619-2

「プレイリーダー養成講座」

日 【第1回】5月8日(土)～5月9日(日)

【第2回】6月5日(土)～6月6日(日)

内 自然体験活動の指導者(リーダー)として必要な知識や技能を修得します。養成講座Ⅰ・Ⅱ(2回)を受講すれば、希望によりNPO法人自然体験活動推進協議会の認定する自然体験活動リーダーの資格が得られます。

① 高校生以上(定員/各30人)

② 各5,500円

吉田少年自然の家 T 0826 (42) 2311 安芸高田市吉田町吉田406

「プレイリーダー養成講座」

日 【第1回】5月22日(土)～5月23日(日)

【第2回】6月5日(土)～6月6日(日)

内 自然体験活動の指導者(リーダー)として必要な知識や技能を修得します。養成講座Ⅰ・Ⅱ(2回)を受講すれば、希望によりNPO法人自然体験活動推進協議会の認定する自然体験活動リーダーの資格が得られます。

① 高校生以上(定員/各30人)

② 各5,500円



ご利用ください

広島県高等学校等奨学金

勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難と認められる高校生や高等専門学校生に対して奨学金を貸与します。

■ 貸付月額 【国公立】自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円
【私立】自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円

■ 貸付利息 無利息

■ 貸付対象 <1> 高等学校又は高等専門学校に在学していること(1年～3年が対象)

<2> 保護者が広島県内に住所を有すること

<3> 経済的理由により修学が困難であること

<4> 学習状況が良好であること

※ <1>～<4>をすべて満たしている人
※ 独立行政法人日本学生支援機構奨学金、母子・寡婦修学資金等との併給はできません

■ 貸付期間 貸付を受ける者が在学する学校の標準の修業年限

■ 償還期間 貸付終了後6か月据置後、10年以内の期間に償還

■ 貸付人員 360人程度



【お問い合わせは】 通学先の各学校又は広島県教育委員会 総務課 TEL082(513)4911

募集
します!

平成16年度広島県教育モニター

広く県民からご意見等をお聴きし、今後の学校教育施策の参考にするため、広島県教育モニターを募集します。

応募資格

学校教育に関心があり、県内に居住する満18歳以上(平成16年4月1日現在)の方です。ただし、次の方は除きます。

- 議会議員(国、地方公共団体)
- 常勤の公務員
- 現在、公的なモニターをしている方

仕事の内容

- 年3回程度のアンケートへの回答

募集人員

50人(その他、PTA団体からの推薦によりモニターを50人選任する予定です。)

任期

委嘱の日(平成16年5月下旬の予定)から平成17年3月31日まで

記念品

アンケートの回答1回につき500円の図書券を記念品として送付します。

応募方法

専用の「応募用紙」に必要事項を記入の上、郵送してください。「応募用紙」は、県庁行政情報コーナー、広島県教育委員会企画広報室、各教育事務所、各市町村教育委員会にあります。また、広島県教育委員会教育長のホームページ(ホットライン教育ひろしま)からも「応募用紙」をダウンロードすることができます。

<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>

応募期間

平成16年4月1日(木)～4月30日(金)(当日消印有効)

結果通知

選考結果については、決定後応募者全員に通知します(5月下旬予定)。

申込先及び問い合わせ先

広島県教育委員会 企画広報室
〒730-8514 広島市中区基町9-42 (TEL082-513-4935)
(封筒の表に、「教育モニター応募」と朱書きしてください。)

さんフェア広島2004

専門学校等の生徒による学習成果発表の祭典

産業教育120周年記念
第14回 全国産業教育フェア広島大会

「瀬戸の風に夢乗せて つなごう心、技と知恵」
平成16年10月29日(金)～31日(日)開催



平成16年度
全国高等学校総合体育大会
平成16年7月28日(水)～8月12日(木)開催

「広島県子ども夢基金」展開中!
～子どもたちの思い応援します～
平成16年度も皆様からいただいた募金を、子どもたちの豊かな心や知的好奇心・探求心を育てる地域活動に助成します。皆様のご協力をお願いいたします。

ご意見などは、広島県政もみじファクスや郵送でも受け付けています。

- [教育長ホームページ] <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>
- [県政もみじファクス] FAX 082(224)1122 ボックス番号 80034

● [郵送] 〒730-8514
広島市中区基町9-42
広島県教育委員会総務課企画広報室 宛
(「ホットライン」と明記してください。)



〈編集・発行〉 広島県教育委員会総務課企画広報室 〒730-8514 広島市中区基町9番42号 TEL 082(513)4935 [ダイヤルイン] ●点字版の「くりっぶ」を発行していますので、希望される方はご連絡ください。